



ナース☆アクション

「看護学生と看護職養成校を守って！」

看護専門学校から文科省と厚労省に要望書を提出しました！



12月12日、文科省・厚労省へ「高等教育修学支援新制度の改善と看護師養成施設・看護学生の支援の拡充を求める要望書」を提出しました。Web参加を含め、7つの看護専門学校の副学校長・事務長、各県連の看護学生担当者などが参加。日本共産党の倉林明子参議院議員、吉良よし子参議院議員が同席しました。

要望では、修学支援新制度の対象者のさらなる拡大、新たな対象として設けられた理工農系学部の学生に看護を含めること、機関要件の廃止などを求めました。吉良議員は「文科省はゼロ回答。看護学生の切実な実態をふまれば、線引きせずに学費の値下げなどの無償化を目指すべき」と強調。倉林議員は「地域医療介護確保基金の実績を検証すべきだ」と要望しました。

「高等教育の無償化を早く実現してください」



私達は、奨学金の返済を背負わなければ高等教育を受けることができないのでしょうか

東葛看護専門学校の学生自治会からの訴え
(動画でのメッセージ)

東葛看護専門学校の学生からは、「16時過ぎまで授業を受けた後、6時間アルバイトをする日もあり、翌日の授業までに十分な休息がとれない」「実習期間中の交通費だけで1万円近くかかった」等の切実な訴えがありました。また、「誰もが経済的に負担なく、学業に専念できる環境を作ってほしい」として、早急な高等教育無償化の実現を求めました。



東葛看護専門学校の児玉前事務長からは「とりわけ、国家資格を取得する養成校は機関要件は必要ない」と訴えがありました。モニター画面は、各看護専門学校の副学校長・事務長。

📄 提出した要望書をニュースに添付します 📄

📺 上記、要望書提出の動画をきらり看護HPへアップしました(60分弱)

<https://kirarikango.com/document/> 🐣

